

今治海上保安部管内における平成22年の船舶事故発生概要 (速報値)

船舶事故の発生状況(単位:隻)

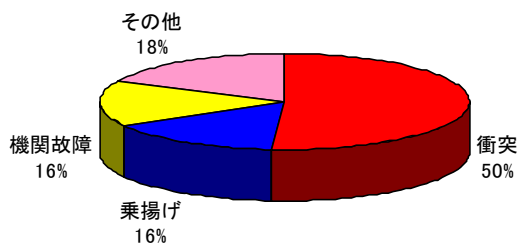
事故発生状況の前年との比較 (下段:死者・行方不明者数)

船舶事故(単位:隻)	H21	H22	増減
船舶事故隻数	36	51	15
死者・行方不明者数	0	1	1
船種別			
貨物船	12	12	0
	0	0	0
漁船	6	9	3
	0	1	1
プレジャーボート	10	13	3
	0	0	0
その他	8	17	9
	0	0	0
種類別			
衝突	20	26	6
	0	0	0
乗揚げ	5	8	3
	0	0	0
機関故障	3	8	5
	0	0	0
その他	8	9	1
	0	0	0

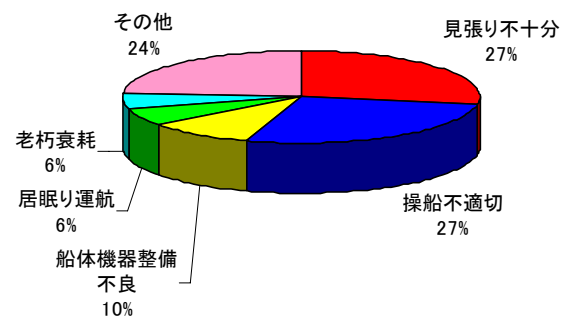
来島海峡及びその航路周辺海域 (左表再掲)

船舶事故(単位:隻)	H21	H22	増減
船舶事故隻数	8	7	-1
死者・行方不明者数	0	0	0
船種別			
貨物船	4	2	-2
	0	0	0
漁船	0	0	0
	0	0	0
プレジャーボート	3	2	-1
	0	0	0
その他	1	3	2
	0	0	0
種類別			
衝突	5	2	-3
	0	0	0
乗揚げ	2	0	-2
	0	0	0
機関故障	0	3	3
	0	0	0
その他	1	2	1
	0	0	0

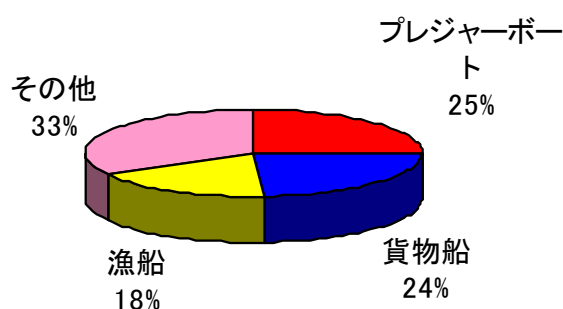
船舶海難種類別(H22)



船舶海難原因別(H22)



船舶海難船種別 (H22)



平成22年における今治海上保安部管内の船舶事故の隻数は51隻で平成21年に比べ15隻増加となりました。

そのうち、約50%にあたる26隻が衝突海難であって、その原因別では約54%が見張り不十分又は操船不適切による海難でした。

船種別では、プレジャーボートが13隻と最も多く、次に貨物船の12隻となっております。その他は曳船・作業船等のことです。

また、昨年7月に船舶交通の安全性の向上等を図るため、港則法及び海上交通安全法の一部を改正しましたが、平成22年における来島海峡及びその航路周辺海域での船舶事故は7隻で平成21年に比べ1隻減少となり平年並みの値となりました。

なお、船舶事故に伴う死者・行方不明者は、過去5年間は1人もありませんでしたが、平成22年は1名の尊い命が失われております。

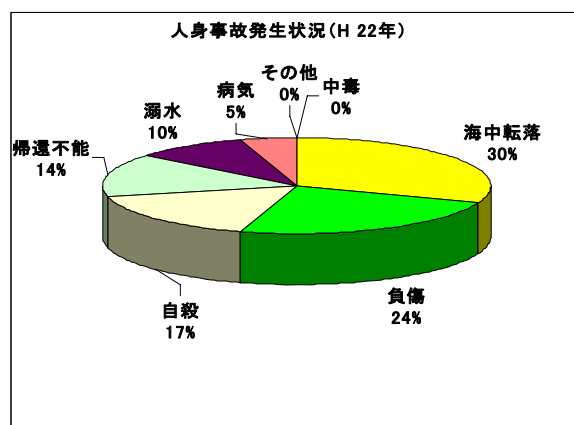
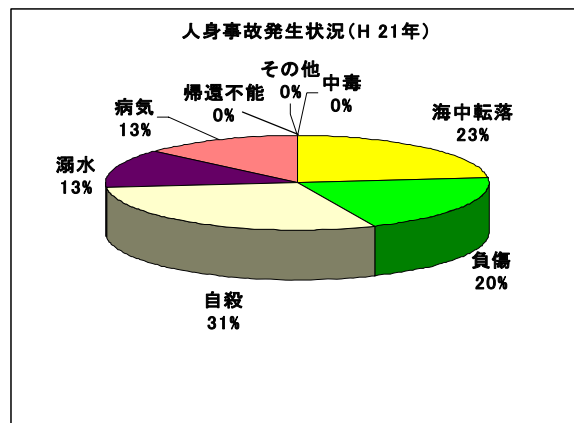


今治海上保安部管内における平成22年の人身事故発生概要 (速報値)

人身事故の発生状況

(単位：人・()は死亡)

発生年 事故種類	平成21年	平成22年
合計	30 (13)	42 (11)
海中転落	7 (2)	13 (7)
負傷	6	10
病気	4	2 (2)
中毒	0	0
自殺	9 (8)	7 (2)
溺水	4 (3)	4
帰還不能	0	6
その他	0	0



平成22年における人身事故者数は42人(うち死亡11人)で、平成21年と比べて12人増ですが、死亡者数は2人減となっています。

事故種類別では、船舶や岸壁・防波堤等からの海中転落によるものが13人(うち死亡7人)と最も多く、平成21年と比べて6人増となっており、死亡者数も5人増となっています。掲載

次いで自殺によるものが7人(うち死亡2人)で、平成21年より2人減となっており、死亡者数も6人減となっています。

また、平成22年に目立ったものとしては、平成21年には発生していませんが、遊泳中に強風や潮流で沖合いに流されて帰還不能となった方が6人いました。

このうち5人は118番通報により巡視艇等で、1人は110番通報により警察手配の小型船に救助されております。